

国語の傾向（基礎能力テスト / 本学個別学力試験）

はじめに

医療の専門家を目指して本学への入学を希望されている皆さんは、いずれ医療専門職となって社会の様々な問題を抱えながら生活している人々とうまくコミュニケーションをとることが必要となります。そのためには、現代社会における人々のあり方を論じた文章を数多く読んで内容を理解し、それに対する自分の考えを持つことが大切です。筆記試験では、内容の読解までにとどめていますが、日本語を正確に読み、正確に書くことは大学での学習のスタートラインです。

2026年度入試の試験範囲は、「現代の国語」及び「言語文化」を出題範囲とし、古典（古文、漢文）を除きます。

傾 向

- 1 マークシート方式による選択式です。
- 2 国語基礎能力テスト（総合型選抜：基礎能力型、学校推薦型選抜〈公募制推薦〉、チャレンジ（特待生）選抜〈前期〉）は現代文2題及び国語の知識問題小問集合です。
- 3 本学個別学力試験（一般選抜・チャレンジ（特待生）選抜〈後期〉）は、現代文2題で、その内訳は評論2題または評論・随筆各1題です。
1問目の評論文の問題は科学・歴史・心理・哲学・文化など幅広いジャンルから出題される、やや硬質な文章で、内容把握が中心です。2問目の評論文または随筆文の問題は1問目よりやや柔らかめの文章で、内容把握のほか、さまざまな国語の知識が問われます。いずれの問題も高校の教科書レベルの文章が出題されます。
- 4 漢字の読み書きは必須で、語意、四字熟語・ことわざなどの知識問題も頻出しています。また読解問題は空欄補充、欠文補充、指示内容、内容説明、理由説明などの部分読解問題と全体読解問題（筆者の主張、内容一致など）に分かれます。
- 5 たとえ易しい印象を与える評論文であっても、受験生には馴染みのない評論キーワードが文中では使用されていますから、市販の入試問題集を解いたり、新聞や新書などを読んだりして、論理的、抽象的な文章に慣れておく必要があります。
- 6 大学入学共通テストと比べると、本文の分量も少なく、選択肢の長さも短いので、はるかに取り組みやすい問題です。